

令和5年度就職・採用活動に関する調査結果（大学等）  
【速報版】

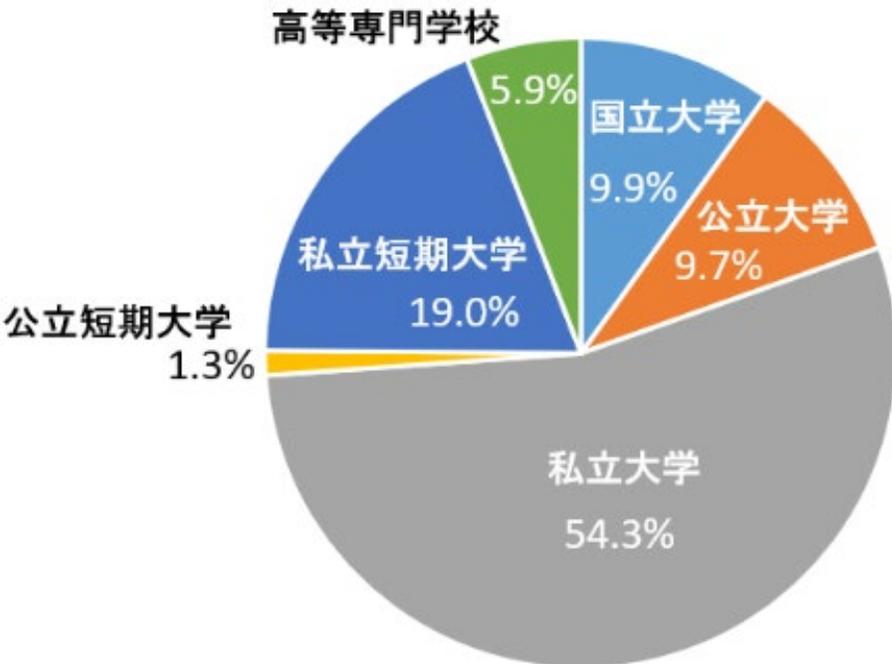
令和5年10月  
文部科学省・就職問題懇談会

# 調査概要

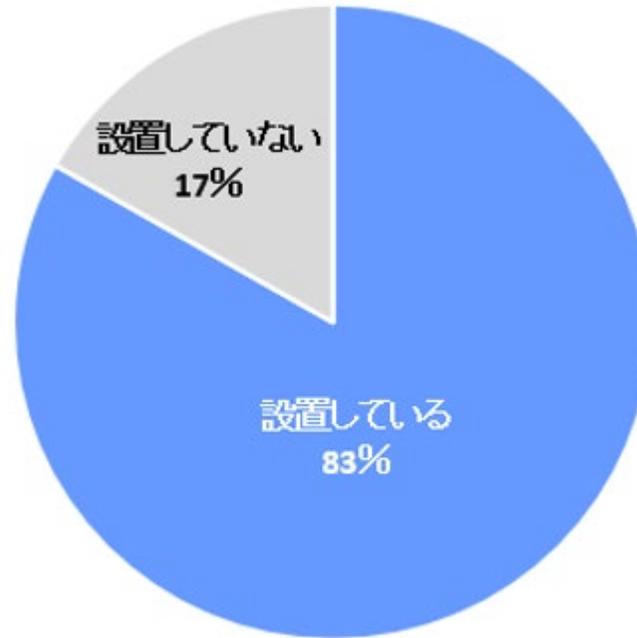
- 文部科学省は就職問題懇談会と協力し、2023年度卒業・修了予定学生の就職・採用活動の実態把握を目的とした「就職・採用活動に関する調査」を全国の大学、短期大学、高等専門学校に対し実施
- 2023年度調査の有効回答数は869校（国立大学：86校、公立大学：84校、私立大学：472校、公立短期大学：11校、私立短期大学：165校、高等専門学校：51校）で、回答率は73.9%
- 2023年8月1日時点の数値について回答を依頼

## 【回答校の基本情報】 n=869

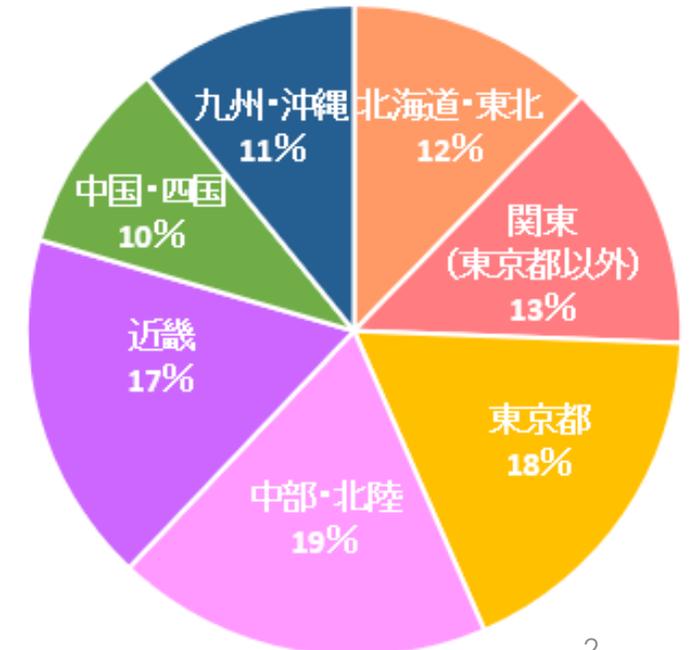
### 学校種別



### 大学院設置の有無



### 所在地



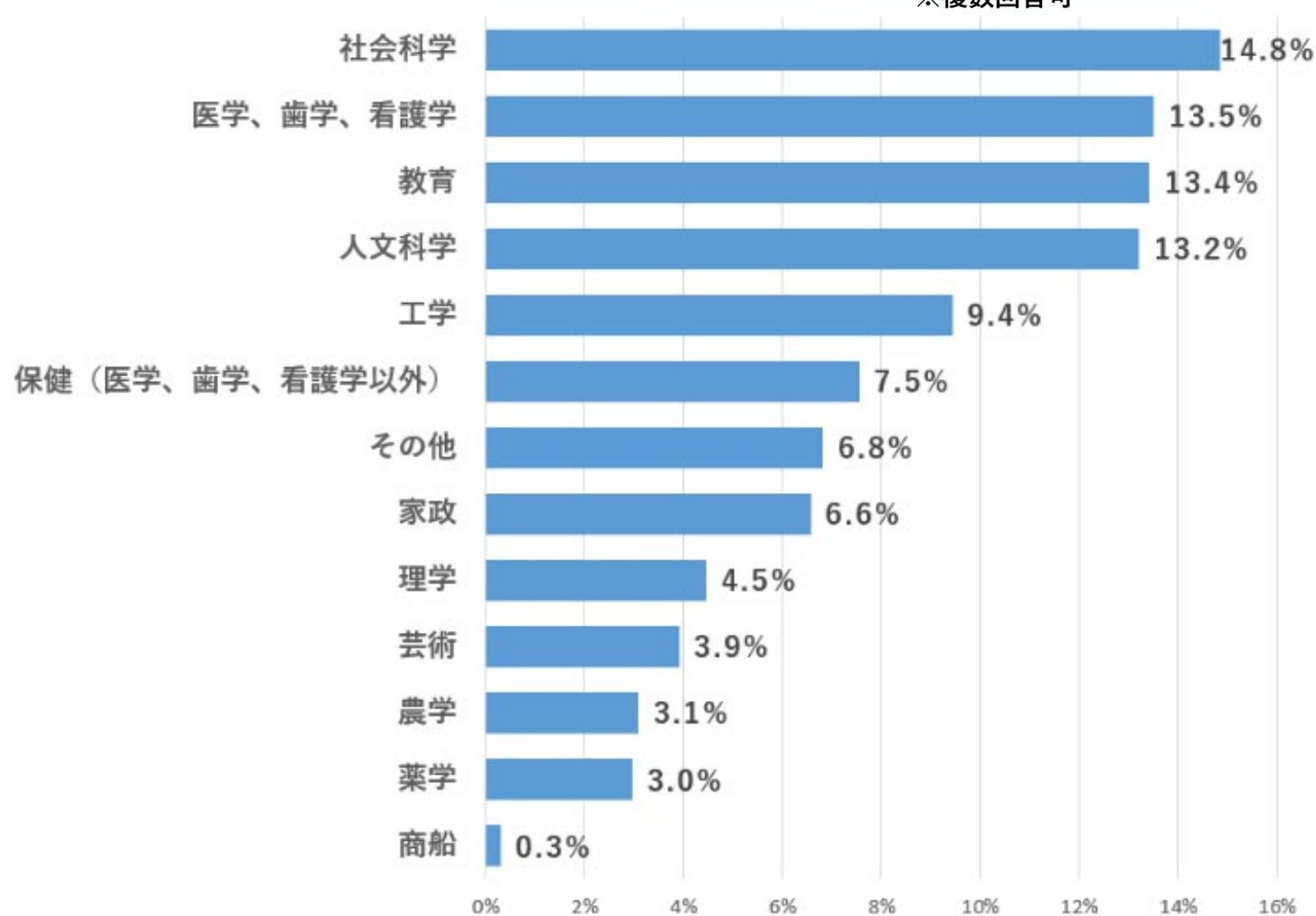
# 調査概要

・回答校が設置している学部（学科）及び研究科は、社会科学（14.8%）、医学・歯学・看護学（13.5%）、教育（13.4%）、人文科学（13.2%）、人文科学（13.2%）他、以下の通り

## 【回答校の基本情報】

### 設置学部（学科）・研究科

※複数回答可

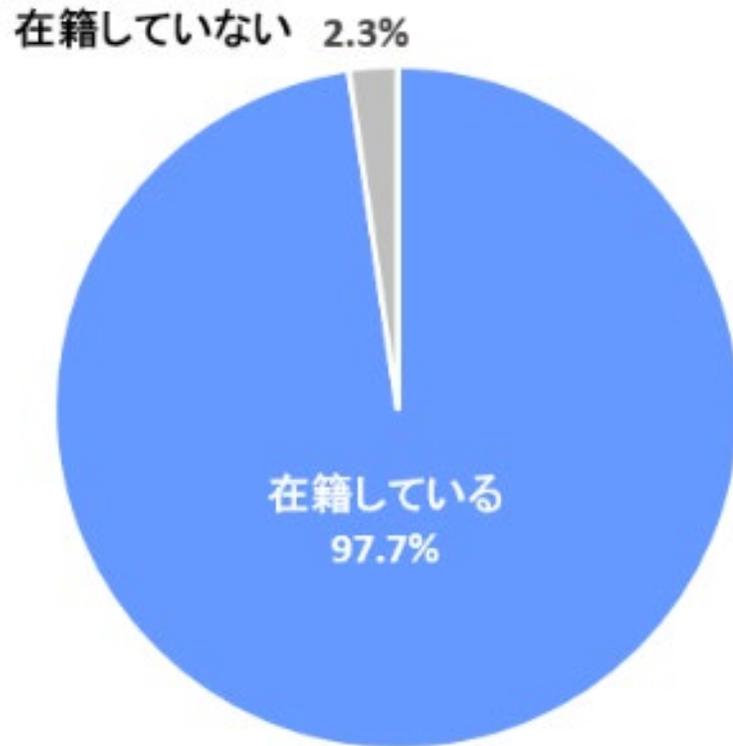


# 調査概要

・今年度卒業・修了予定で就職活動を行う学生が在籍していると答えた大学は全体の97.7%で、卒業・修了予定学年の学生数は100名以上～500名未満が50.3%

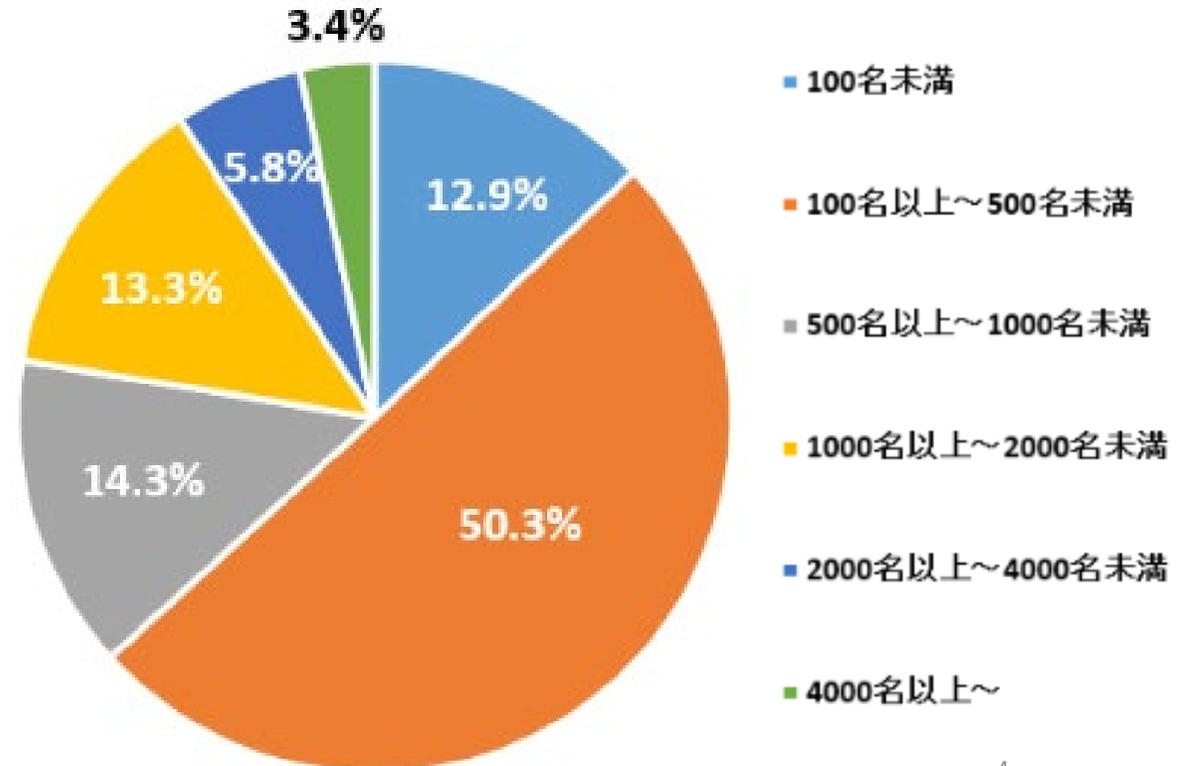
## 【回答校の基本情報】

### 今年度卒業・修了予定で 就職活動を行う学生の在籍の有無



### 今年度卒業・修了予定学年の学生数

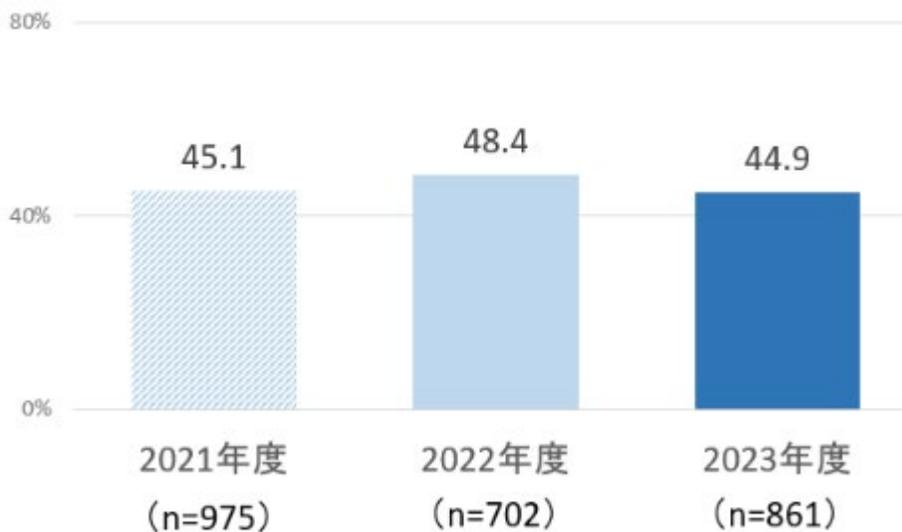
※大学院を設置する大学は、「学部+大学院（修士・専門職学位課程）」の卒業・修了予定者数の計で回答



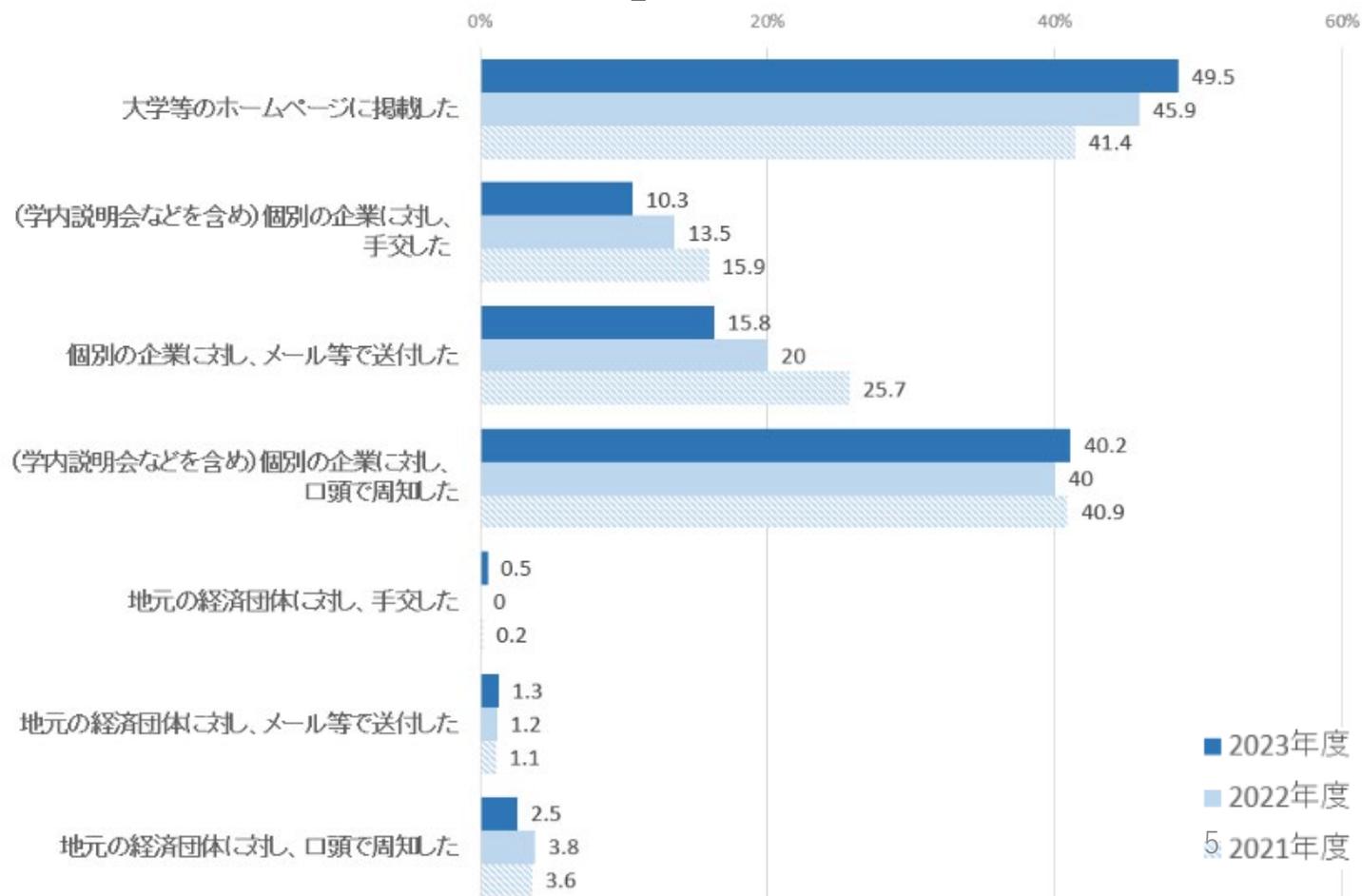
# 就職問題懇談会の「申合せ」について

- ・今年度卒業・修了予定で就職活動を行う学生が在籍している大学等うち、「申合せ」の内容を企業に周知した大学等は全体の**44.9%**で、昨年度より**3.5%減少**
- ・周知方法は「**大学等のホームページに掲載した**」が**49.5%**、「(学内説明会などを含め)個別の企業に対し、口頭で周知した」が**40.2%**

「申合せ」の内容を企業等に対して周知した大学の割合



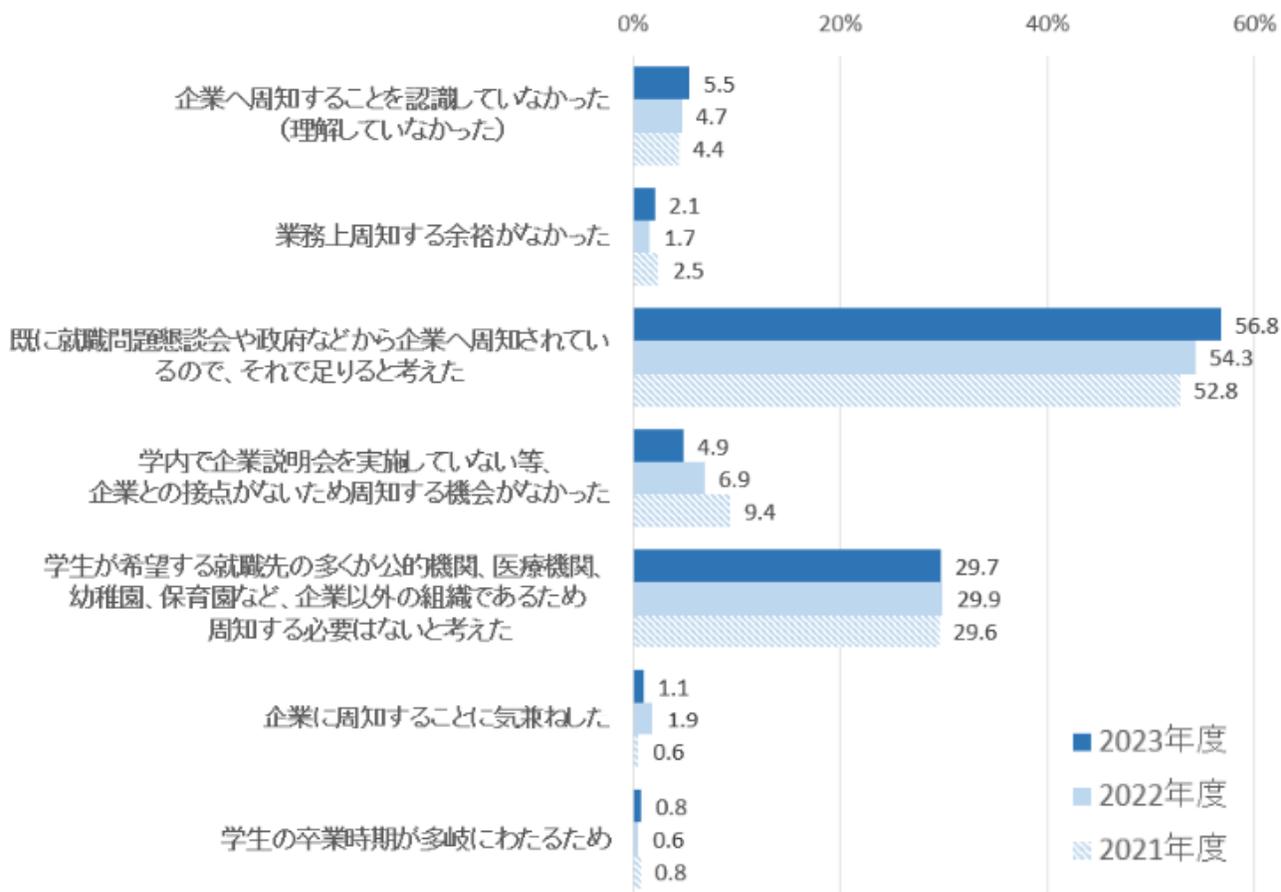
「申合せ」の周知方法 ※複数回答可



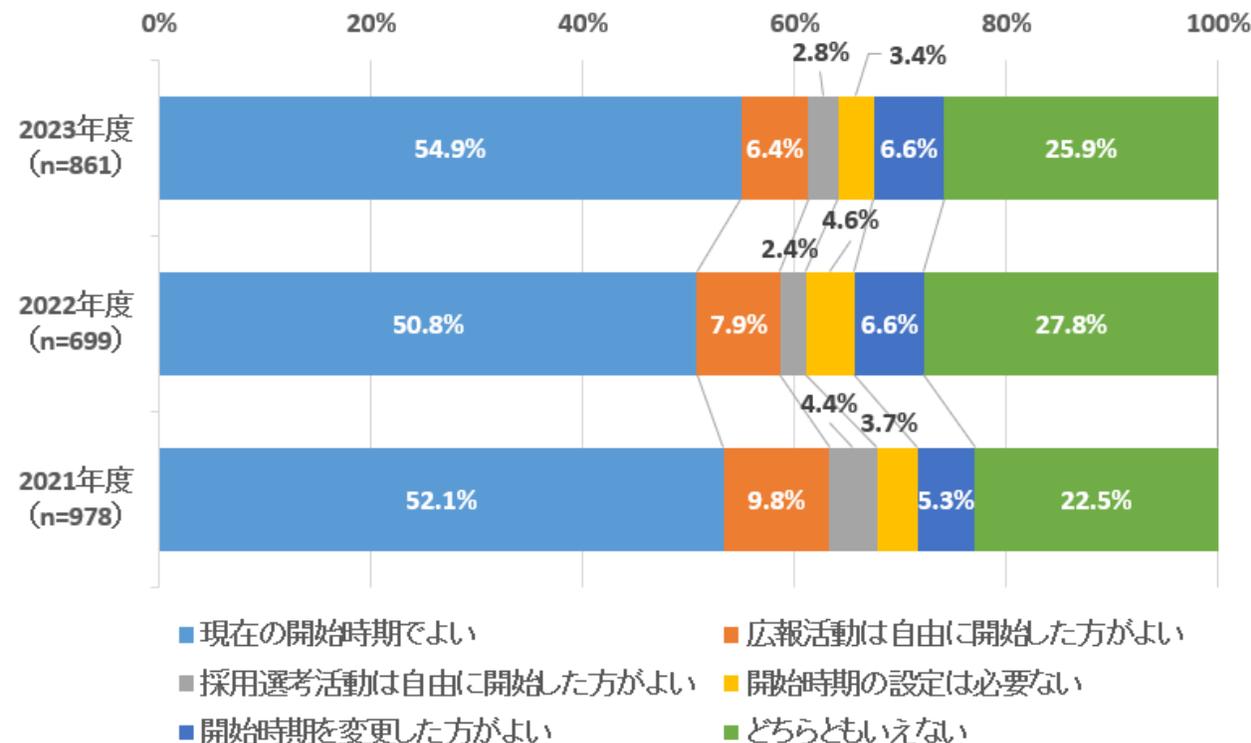
# 就職問題懇談会の「申合せ」について

- ・申合せについて「周知していない」と回答した大学等に対し、周知していない理由を尋ねたところ、「既に就職問題懇談会や政府などから企業へ周知されているので、それで足りると考えた」が56.8%
- ・就職・採用活動の開始時期が設定されていることについては「現在の開始時期で良い」という意見が54.9%

## 「申合せ」を周知していない理由



## 就職・採用活動の開始時期（広報活動3月、採用選考活動6月）が設定されていることについて

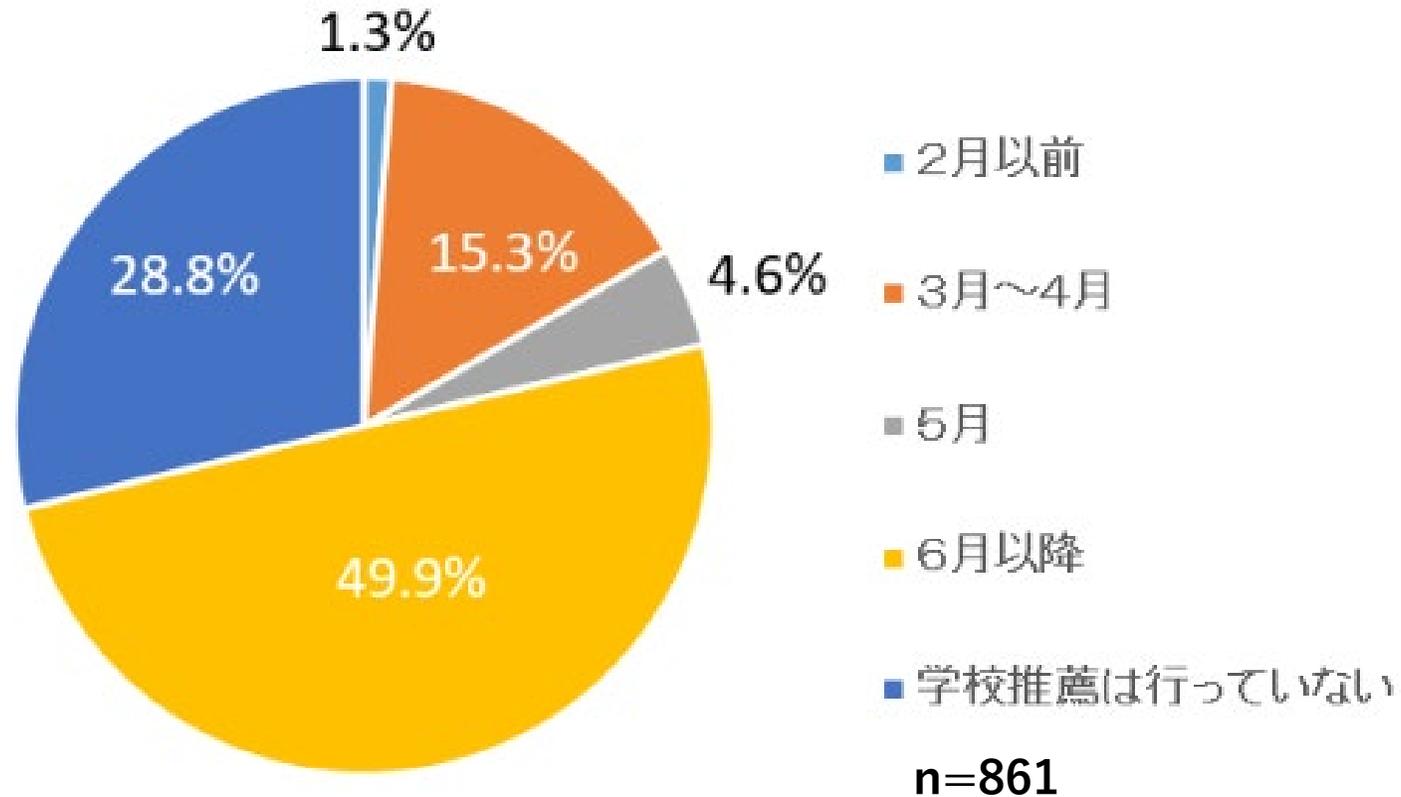


## 「学校推薦」について

- 「申合せ」では、「学校推薦は、卒業・修了年度6月1日以降とすることを徹底する。」こととしており、それを踏まえ、**学校推薦（※）としての推薦状の発行は何月に行っているか尋ねたところ、「6月以降」が49.9%**

※学校推薦：大学等に対し募集があった求人に対し、大学等から推薦してもらう形で企業にエントリーする方法

学校推薦としての推薦状の発行時期



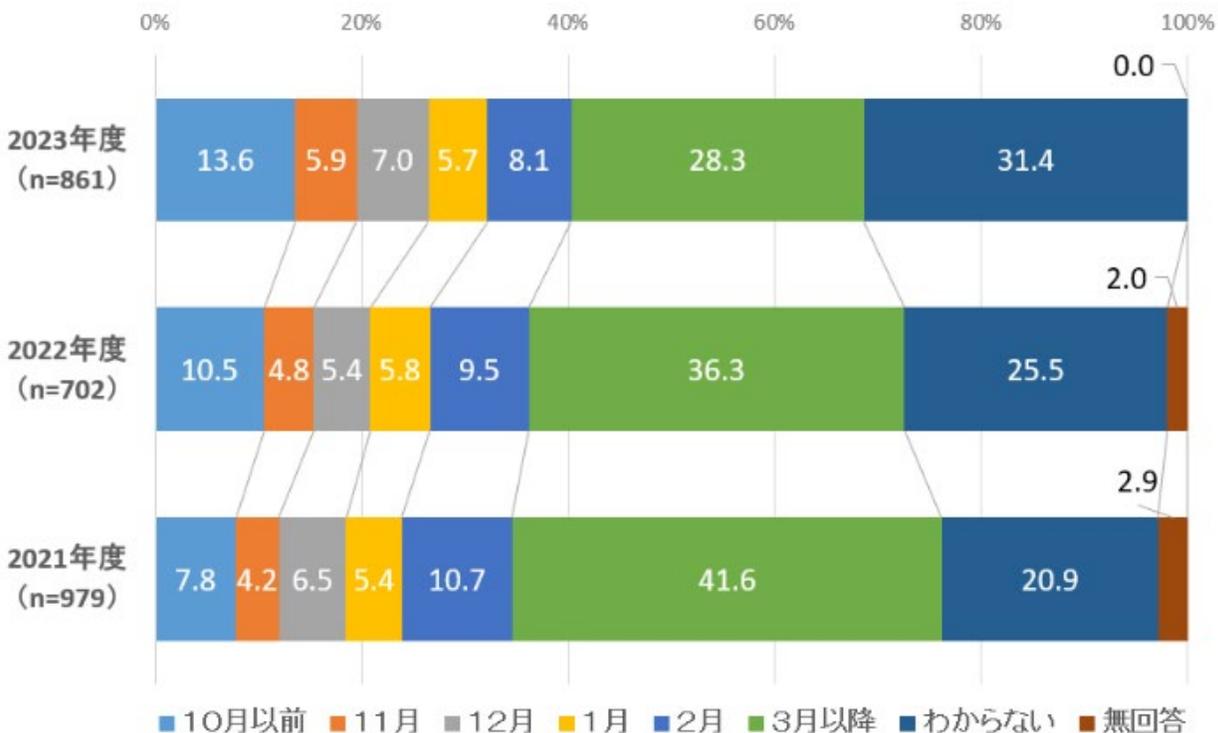
# 本年度卒業・修了予定者に対する企業の広報活動時期について

- ・ 広報開始時期については、「3月以降」という回答が大企業で28.3%、中小企業で22.5%となっており、2月までに開始している割合は大企業で40.3%、中小企業で34.4%
- ・ 過去3か年を比較すると10月以前～2月開始の割合が微増

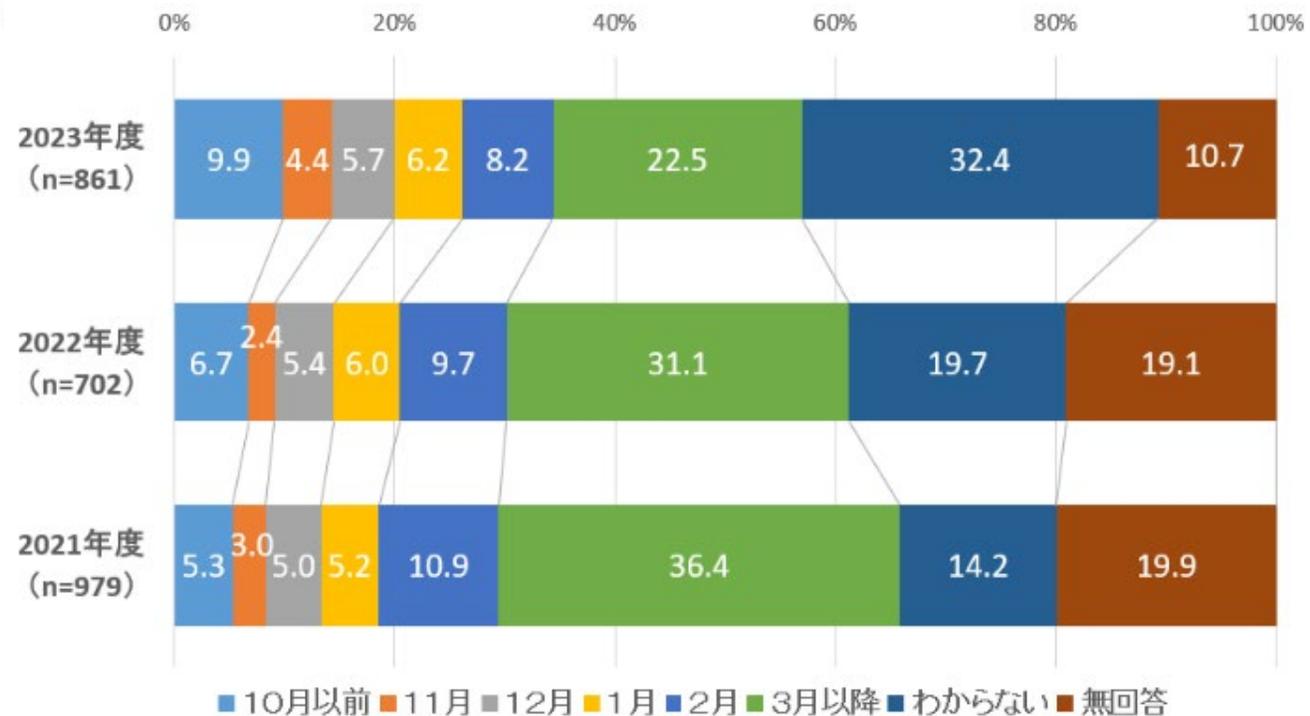
※本調査では、従業員数300人未満の企業を「中小企業」と定義

※企業規模で動向を把握していない場合には、大企業分として回答を依頼しているため、その場合中小企業の回答は「わからない」又は「無回答」となっている

## 大企業



## 中小企業



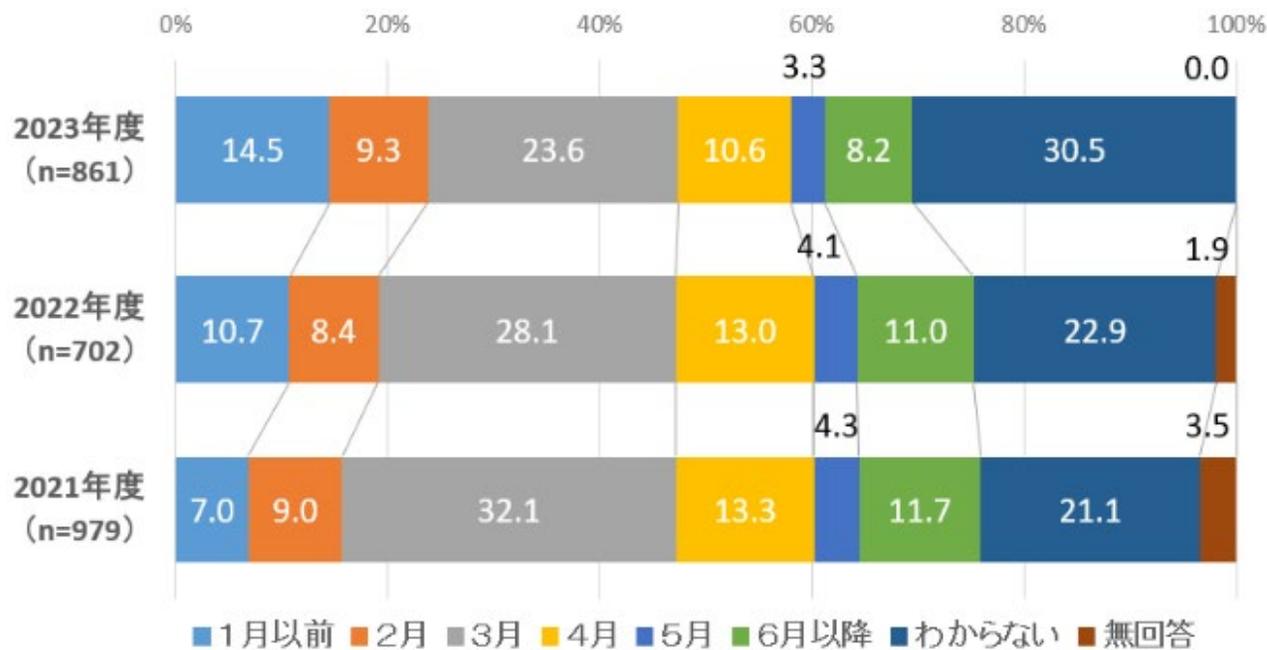
# 本年度卒業・修了予定者に対する企業の採用活動時期について

- 採用活動開始時期については、「6月」という回答が大企業で8.2%、中小企業で6.5%となっており、5月までに開始している割合は大企業で61.3%、中小企業で52.8%
- 過去3か年を比較すると1月以前～4月開始の割合が微減

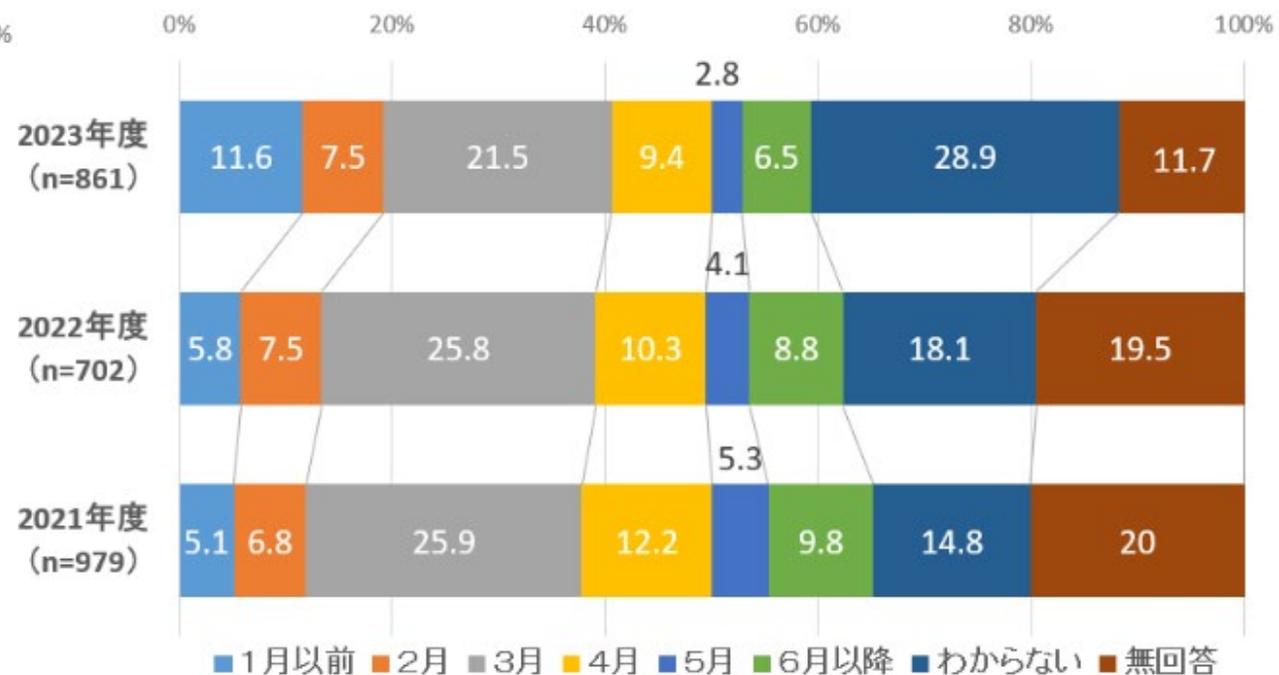
※本調査では、従業員数300人未満の企業を「中小企業」と定義

※企業規模で動向を把握していない場合には、大企業分として回答を依頼しているため、その場合中小企業の回答は「わからない」又は「無回答」となっている

## 大企業



## 中小企業



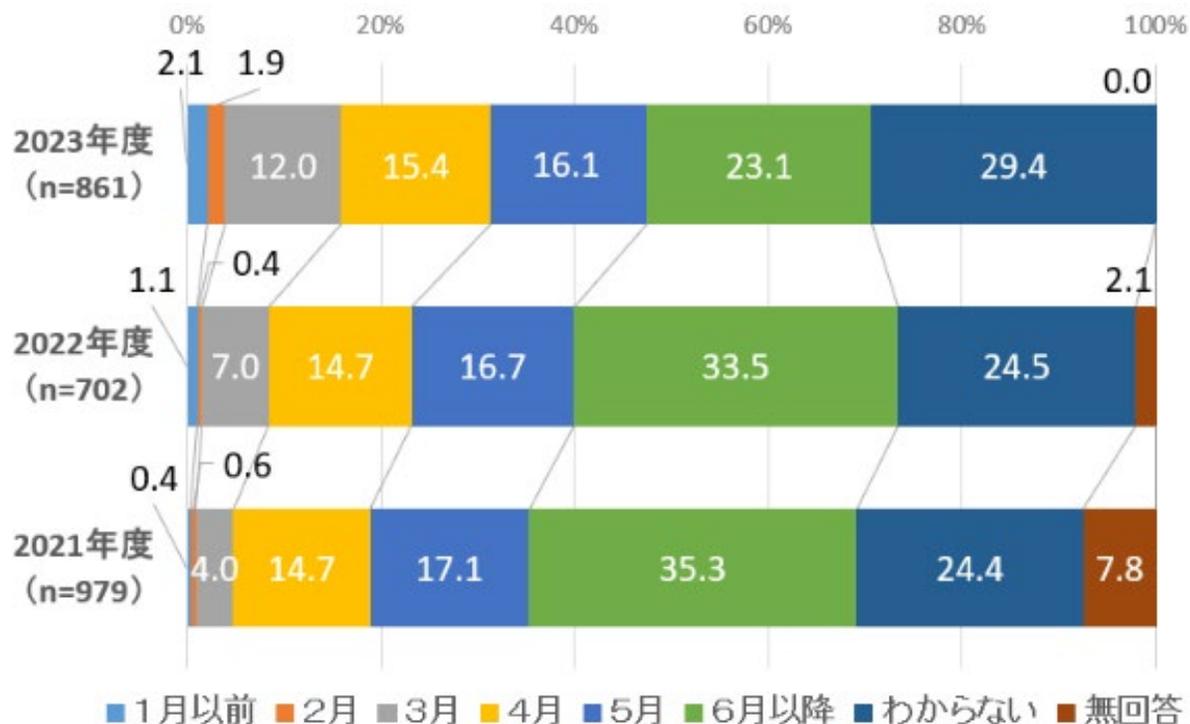
# 本年度卒業・修了予定者に対する企業の内々定時期について

- ・内々定を得た時期については、「6月以降」という回答が大企業が23.1%、中小企業で19.4%となっており、5月までに内々定を出している割合は大企業で47.5%、中小企業で42.1%
- ・過去3か年を比較すると1月以前～5月の割合が増加

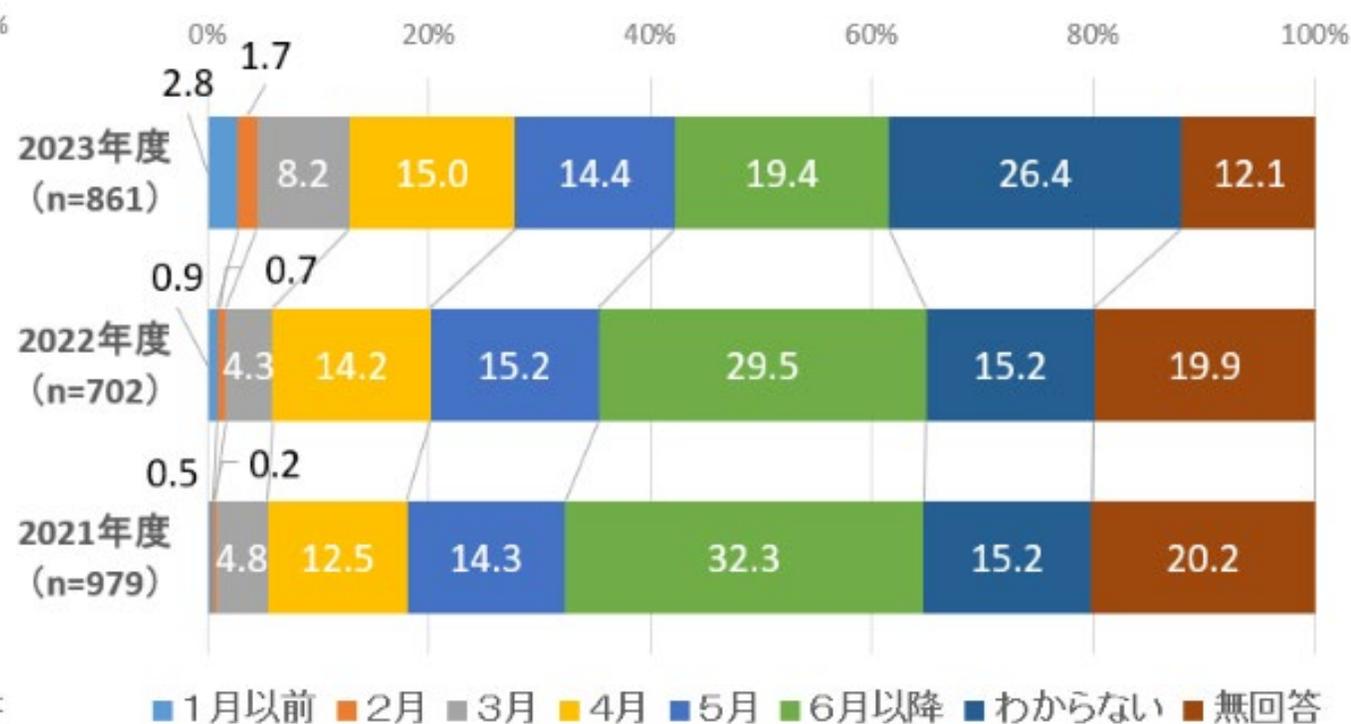
※本調査では、従業員数300人未満の企業を「中小企業」と定義

※企業規模で動向を把握していない場合には、大企業分として回答を依頼しているため、その場合中小企業の回答は「わからない」又は「無回答」となっている

## 大企業



## 中小企業



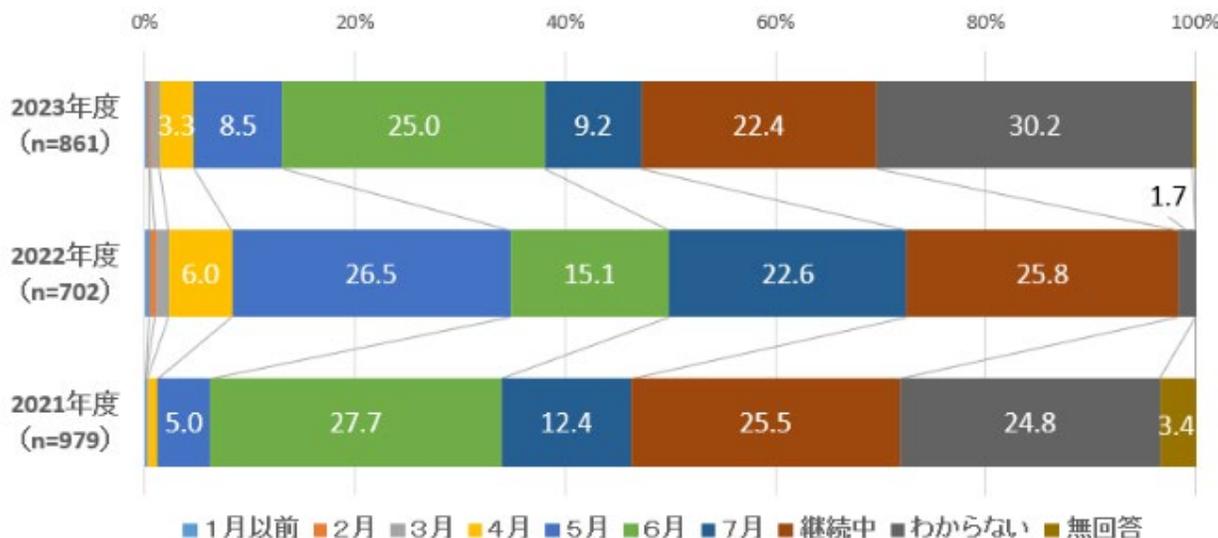
# 本年度卒業・修了予定者が就職活動を終了した時期について

- ・就職活動を終了した時期については、「6月」という回答が大企業で25.0%、「継続中」という回答が中小企業で42.3%
- ・大企業においては、昨年度と比べ4月、5月及び7月終了の割合が減る一方、6月終了の割合が増加

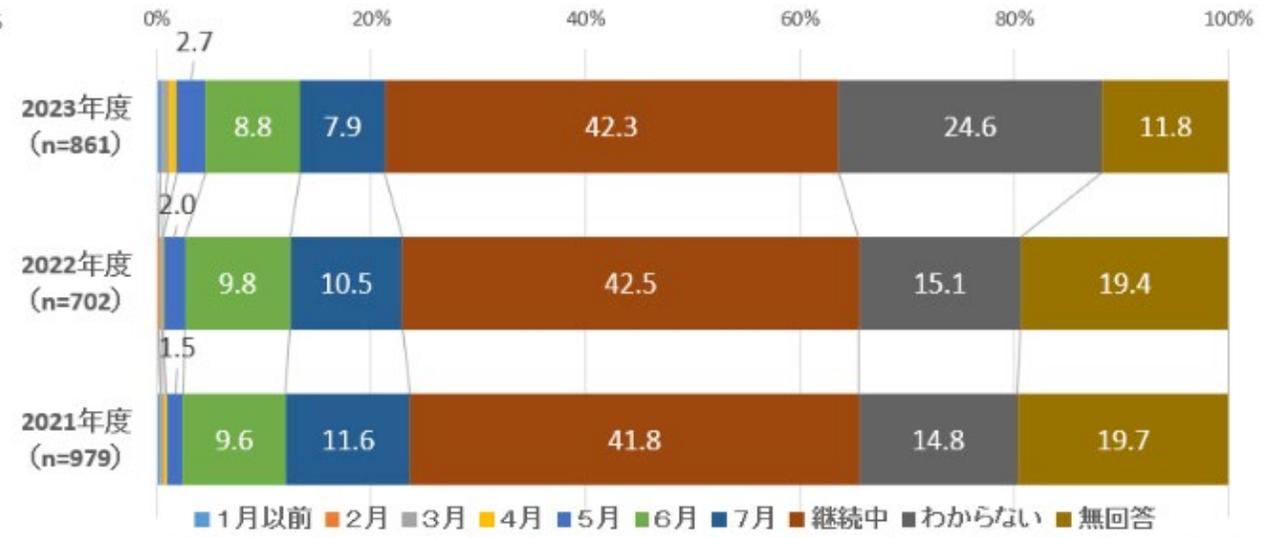
※本調査では、従業員数300人未満の企業を「中小企業」と定義

※企業規模で動向を把握していない場合には、大企業分として回答を依頼しているため、その場合中小企業の回答は「わからない」又は「無回答」となっている

## 大企業



## 中小企業



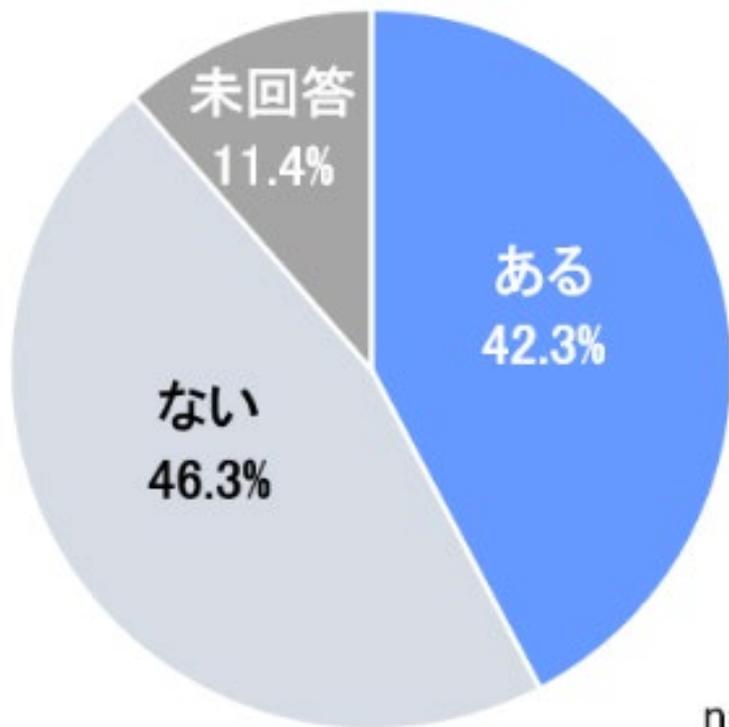
年度	1月以前	2月	3月	4月	5月	6月	7月	継続中	わからない	無回答
2023年度	0.3	0.2	0.8	3.3	8.5	25.0	9.2	22.4	30.2	0.2
2022年度	0.4	0.6	1.3	6.0	26.5	15.1	22.6	25.8	1.7	0.0
2021年度	0.1	0.0	0.2	0.9	5.0	27.7	12.4	25.5	24.8	3.4

年度	1月以前	2月	3月	4月	5月	6月	7月	継続中	わからない	無回答
2023年度	0.3	0.0	0.7	0.8	2.7	8.8	7.9	42.3	24.6	11.8
2022年度	0.1	0.1	0.3	0.1	2.0	9.8	10.5	42.5	15.1	19.4
2021年度	0.3	0.0	0.3	0.3	1.5	9.6	11.6	41.8	14.8	19.7

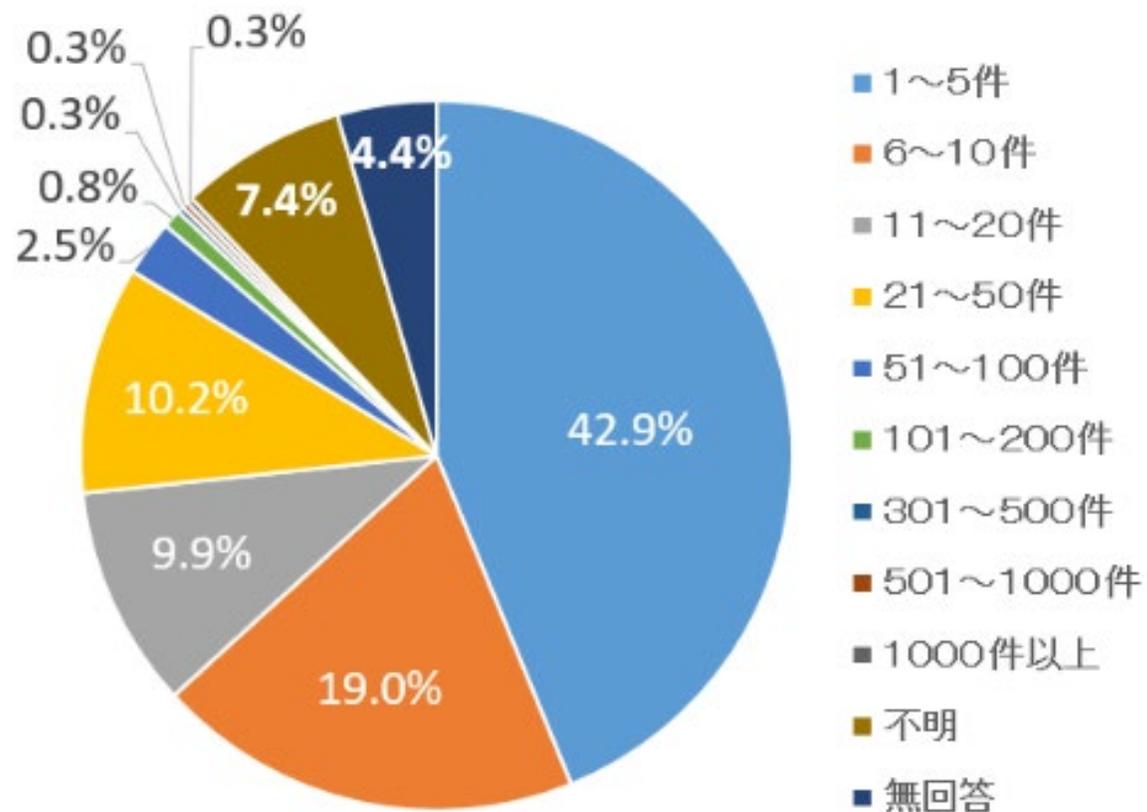
## 本年度卒業・修了予定者からの相談について

- ・「学生から、授業、ゼミ、実験などの授業時間と採用面接の日程等が重なったため、企業・学校に配慮してほしい旨の相談を受けたことがあったか」という問いに対し、相談を受けたことがあると答えた大学等は全体の42.3%
- ・具体的な相談件数は「1～5件」が42.9%、「6～10件」が19.0%

相談の有無



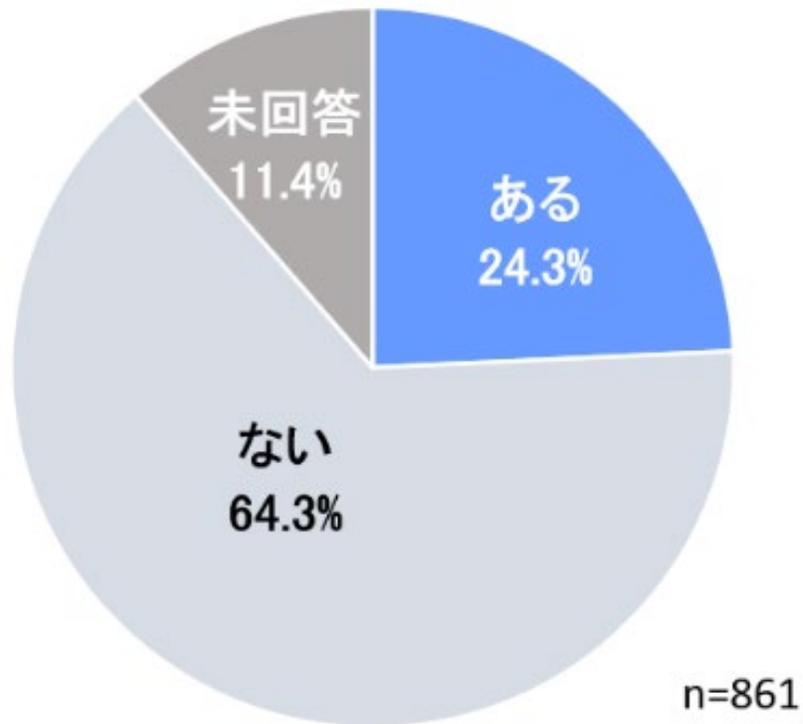
相談件数



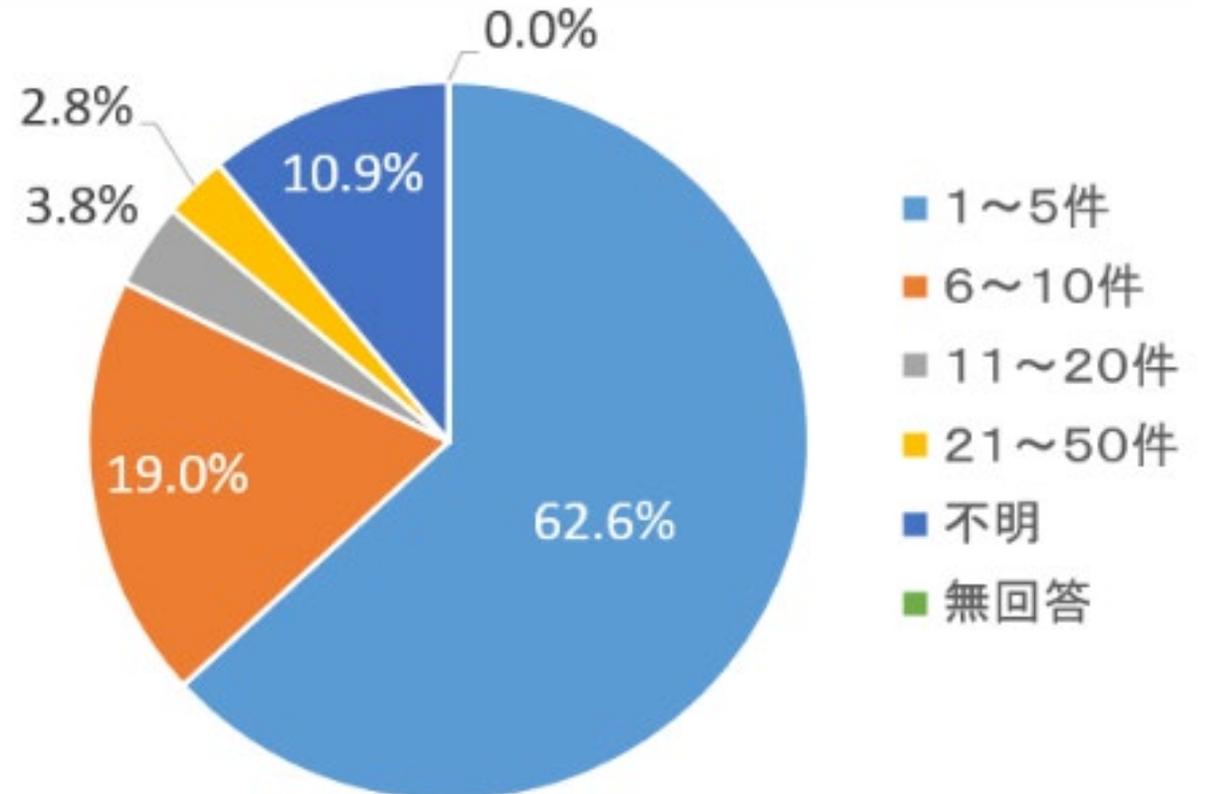
## 本年度卒業・修了予定者からの相談について

- 「学生から、留学や教育実習などの学事日程と就職活動の時期が重なったため、採用面接等を別日程に調整するなどの配慮を企業側にしてほしい旨、学生から相談を受けたことがあったか」という問いに対し、相談を受けたことがあると答えた大学等は全体の24.3%
- 具体的な相談件数は「1～5件」が62.6%、「6～10件」が19.0%

相談の有無



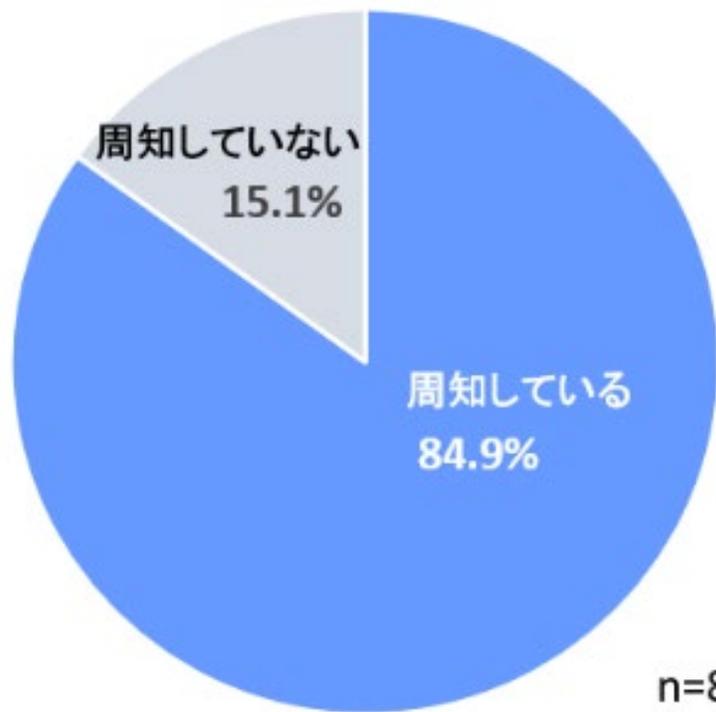
相談件数



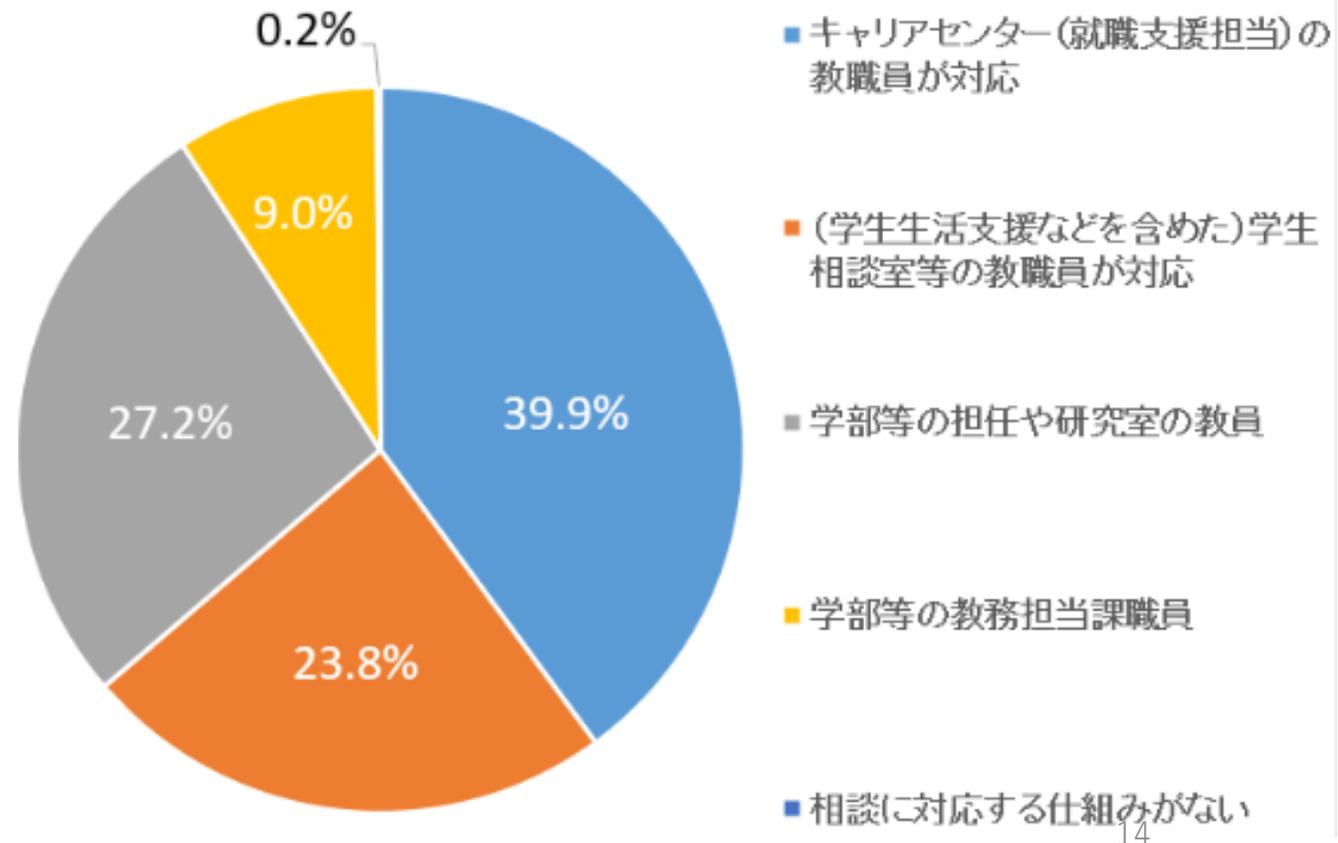
# 就職活動におけるハラスメント等の対応について

- 「就職活動においてハラスメント的な行為を受けた場合、大学へ相談するよう周知しているか」という問いに対し、周知していると答えた大学等は全体の84.9%
- 具体的な相談体制は「キャリアセンター（就職支援担当）の教職員が対応」が39.9%、「学部等の担任や研究室の教員」が27.2%

### 周知の有無



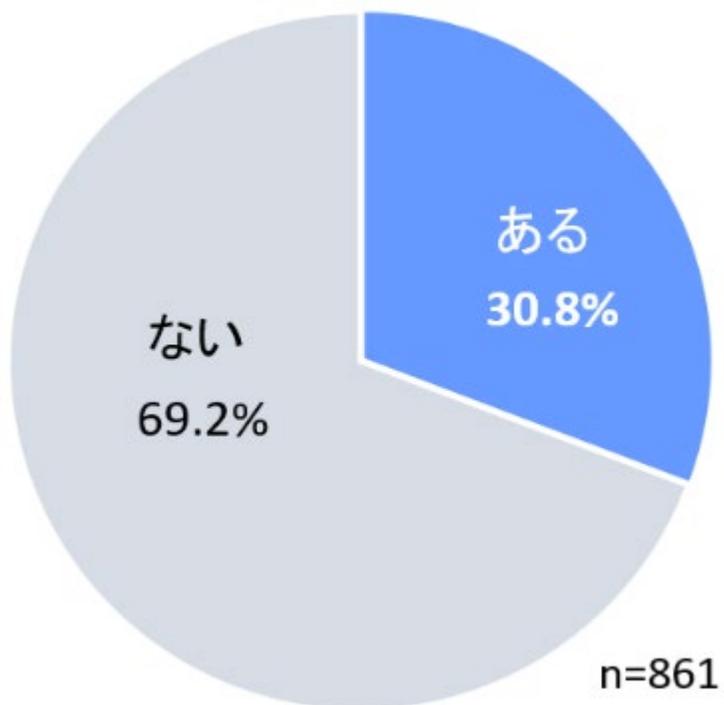
### 学生からの相談に対する対応について※複数回答可



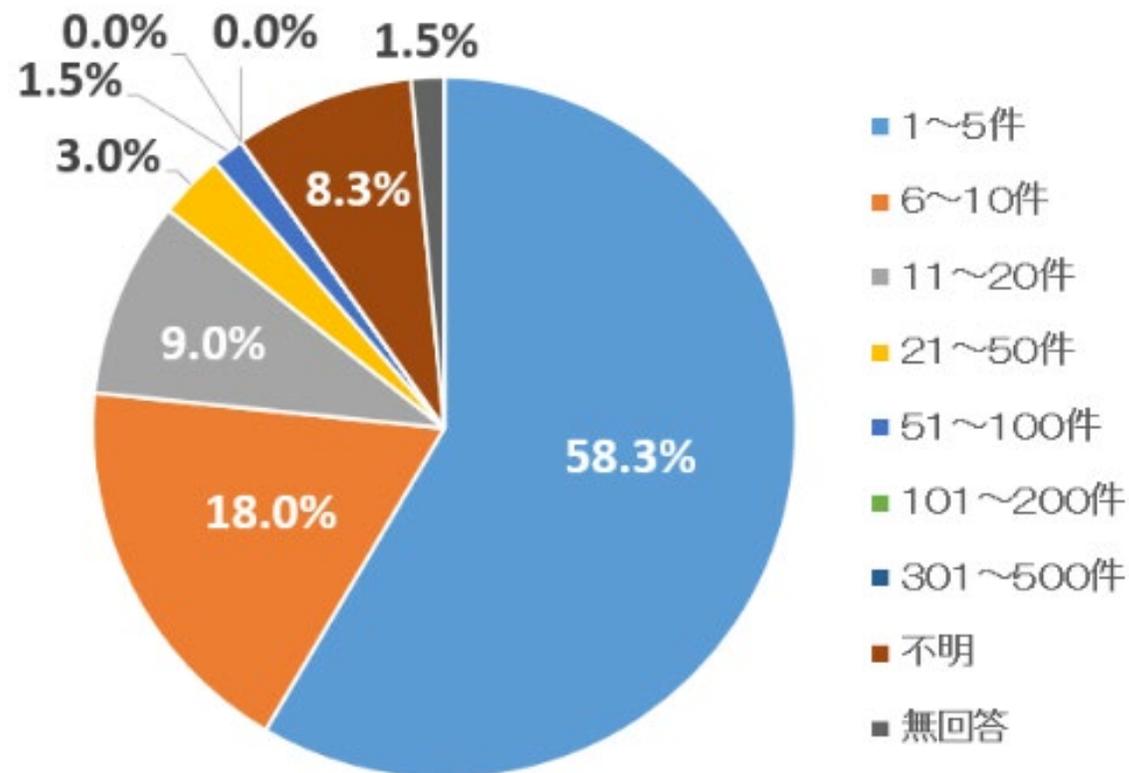
## 就職活動におけるハラスメント等の対応について

- 「企業から学生の意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為（オワハラ）について、相談を受けたことがあるか」という問いに対し、相談を受けたことがあると答えた大学等は全体の30.8%
- 具体的な相談件数は「1～5件」が58.3%、「6～10件」が18.0%

相談の有無

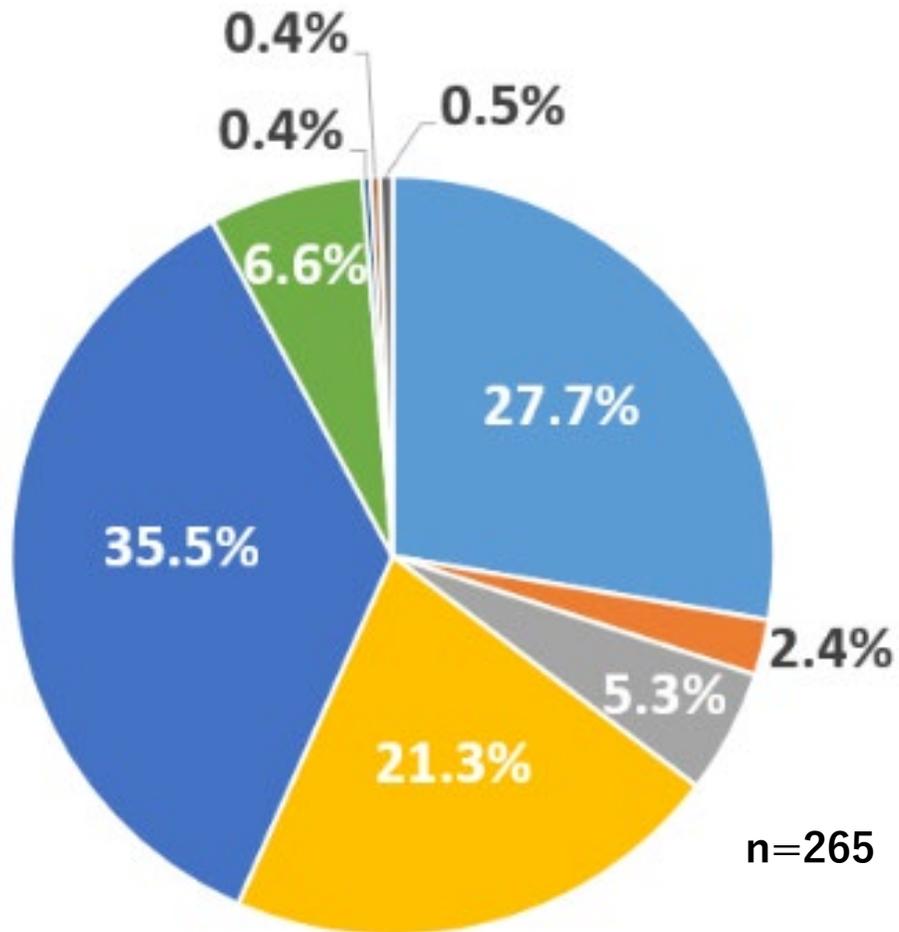


相談件数



# 就職活動におけるハラスメント等の対応について

- ・オワハラについて相談を受けたことが「ある」と回答した大学等に対し、どのようなオワハラについて相談を受けたか尋ねたところ、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」が35.5%、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）」が27.7%



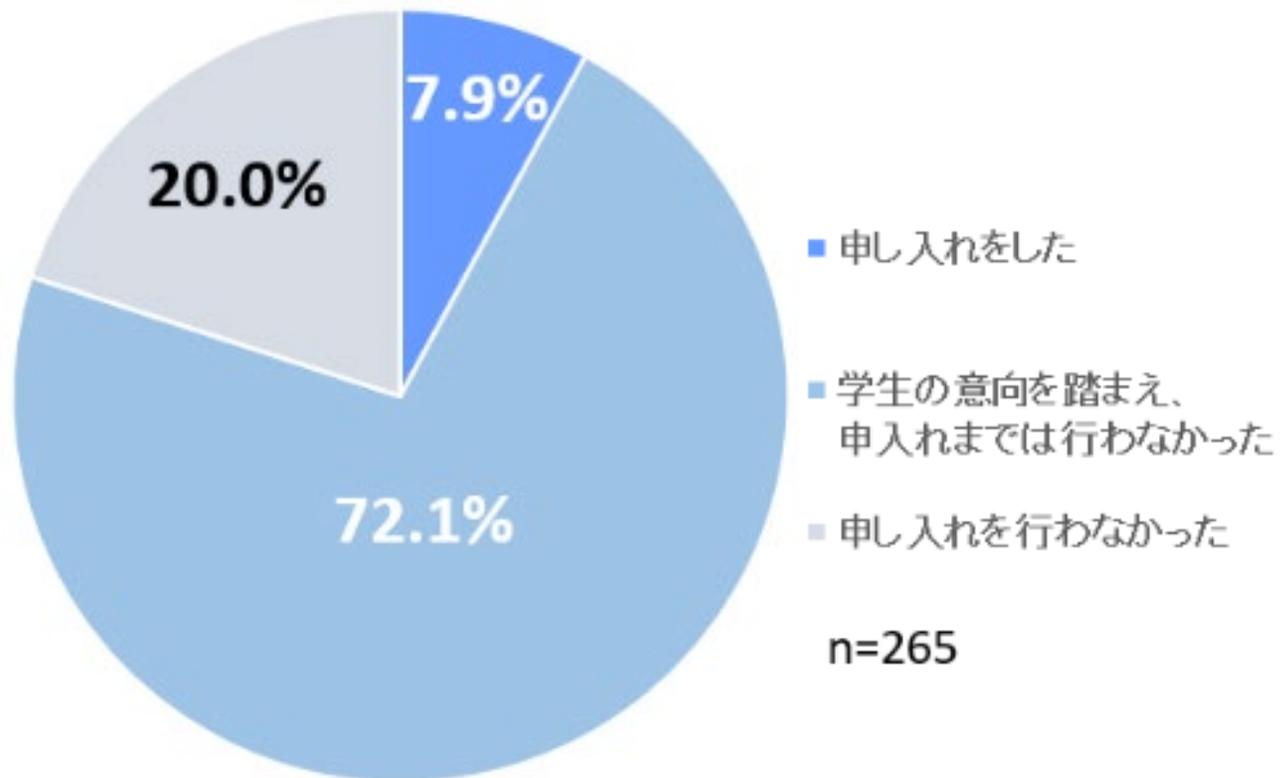
## 相談内容 ※複数回答可

- 内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）
- 内々定後、長時間（長期間）の研修があり、他社の選考が受けられなくなった
- 内々定後、懇親会が頻繁に開催され、必ず出席するように求められた
- 内々定の条件として、他社への就職活動の終了を求める意図で、急速大学の推薦状の提出を求められた
- 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）
- 内々定の辞退を申し出たところ、引き留めるために何度も説明を受けたり、拘束を受けた
- 内々定辞退の際、損害賠償金などお金を要求された
- 面接担当者の目の前で、他社に電話をかけさせ、選考を辞退するように迫られた

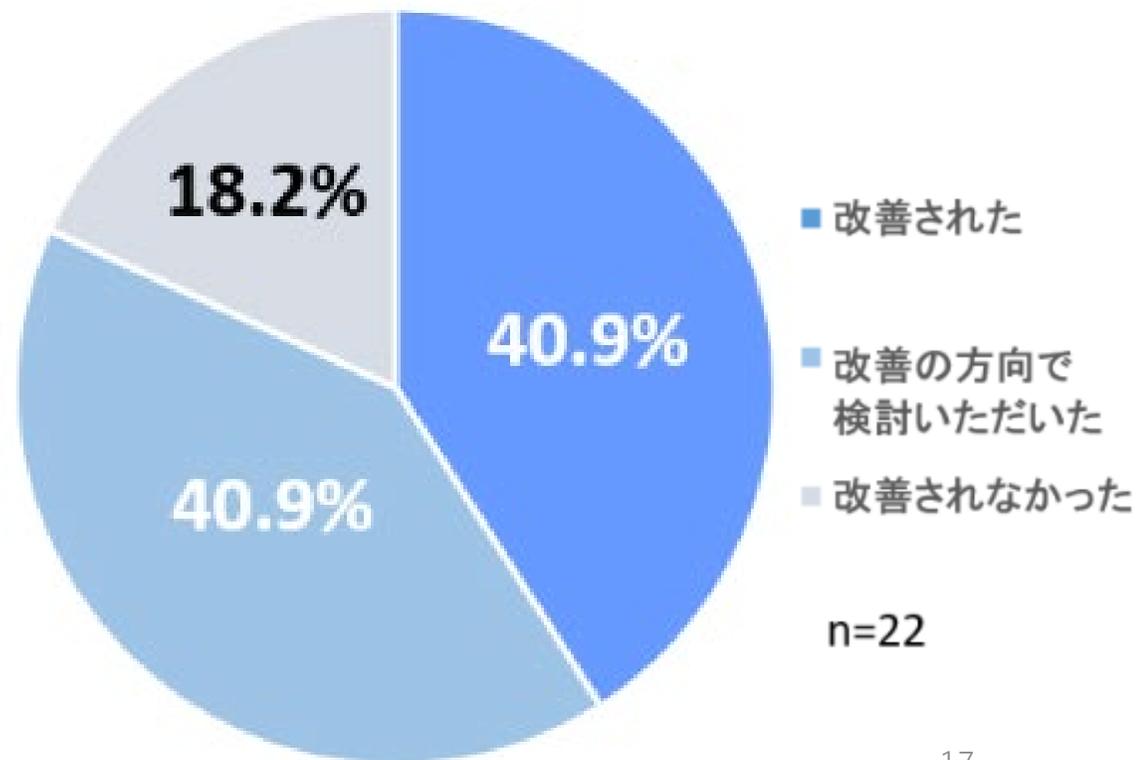
# 就職活動におけるハラスメント等の対応について

- ・ オワハラについて相談を受けたことが「ある」と回答した大学等に対し、「相談を受けて企業に申し入れをしたか」尋ねたところ、「申し入れをした」という大学は全体の7.9%、「学生の意向を踏まえ、申し入れまでは行わなかった」が72.1%
- ・ 「申し入れをした」と回答した大学等に対し、「（申し入れに対し）企業はどのように対応したか」を尋ねたところ、「改善された」「改善の方向で検討いただいた」が全体の81.8%

### 申し入れの有無



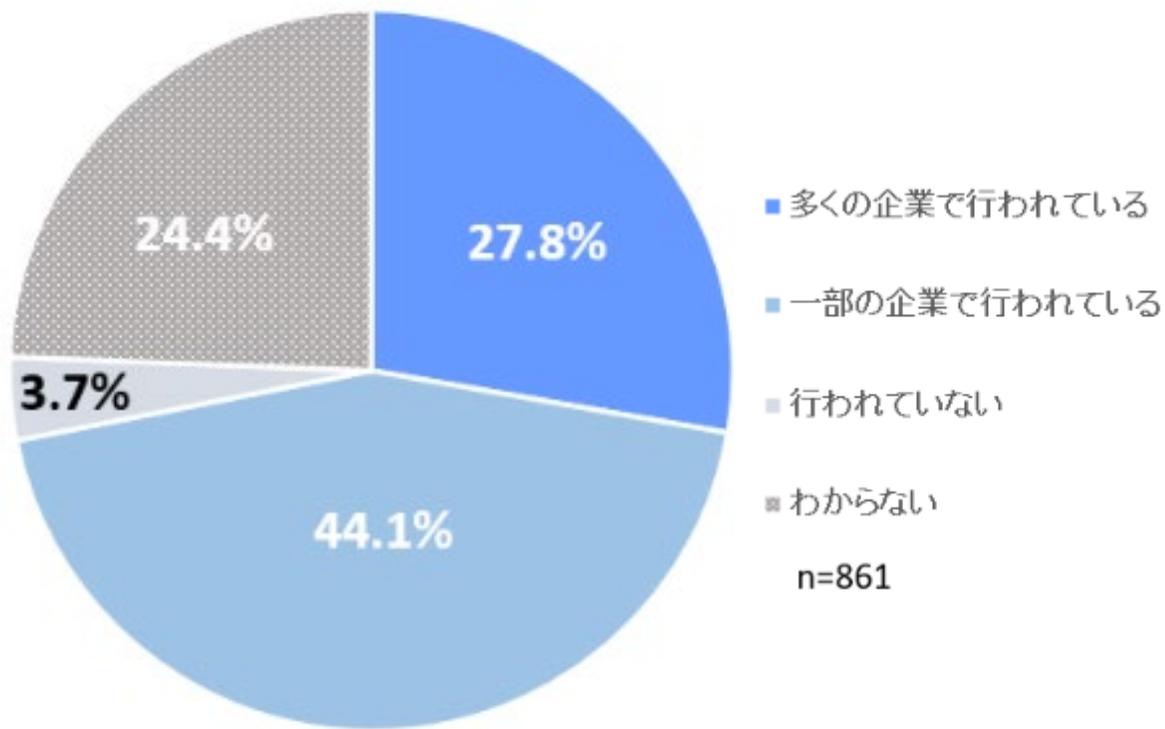
### 申し入れを受けた企業の対応



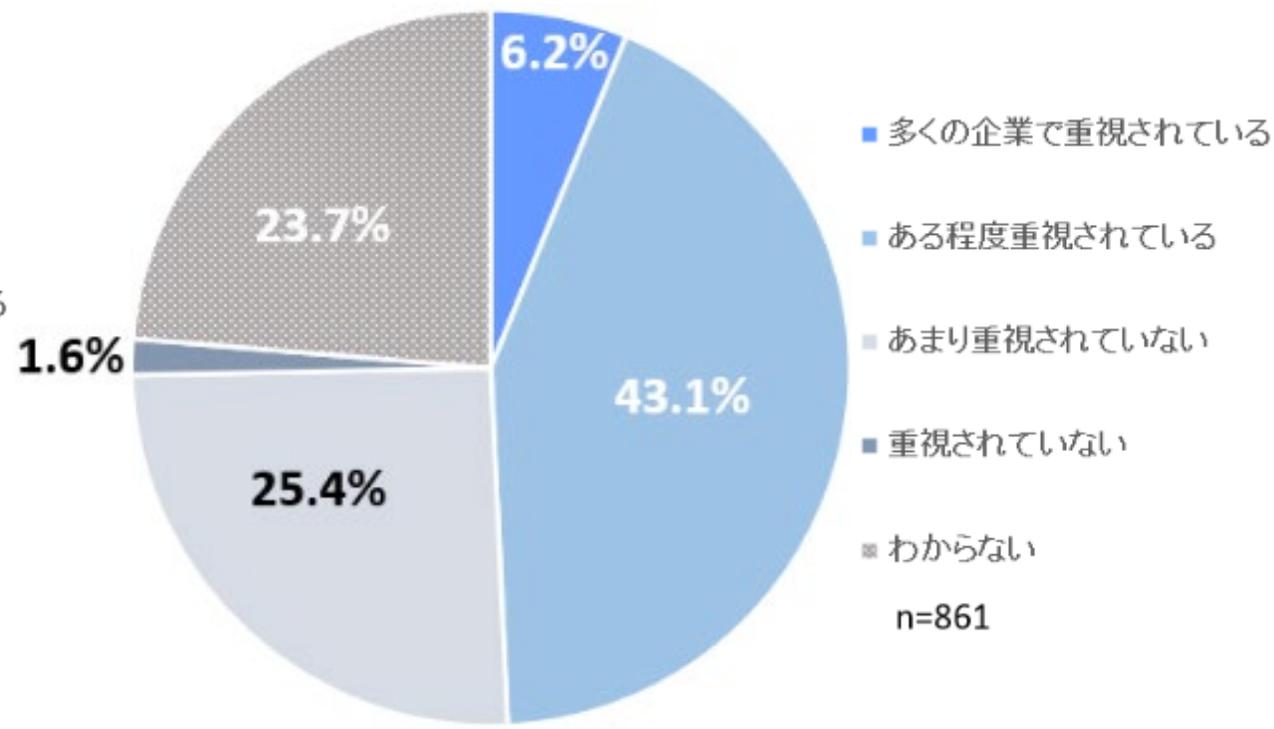
# 採用選考活動における学業成績の評価について

- 企業の採用選考活動において、「学業成績を表す書類等（※）を活用した面接が行われていると思うか」尋ねたところ、「多くの企業で行われている」「一部の企業で行われている」が全体の71.9%
  - 「採用選考活動において、学生を評価する際に大学における学業成果（※）が重視されていると思うか」という設問に対しては、「ある程度重視されている」が43.1%
- （※）成績証明書や履修履歴等

## 面接における学業成果を表す書類の活用



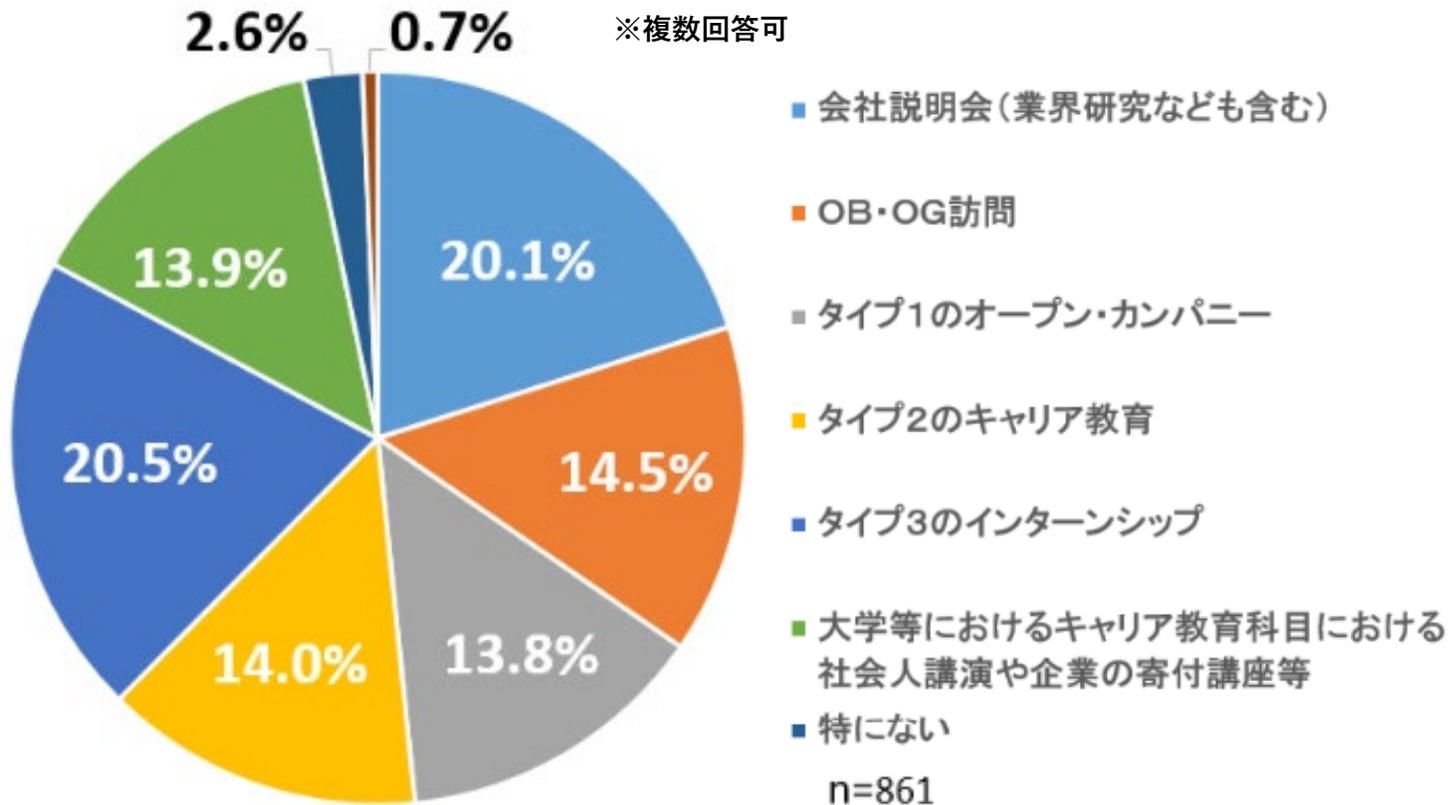
## 学生を評価する際に大学における学修成果が重視されていると思うか



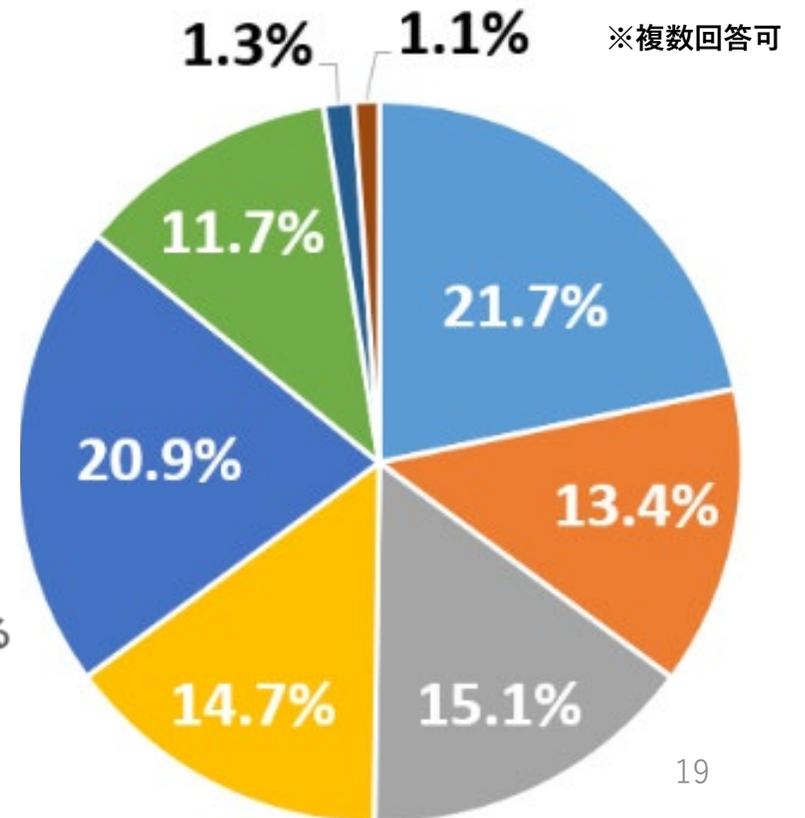
# 企業や学生に期待することについて

- 「学生の職業観や勤労観を涵養し、個々人の個性や適性に応じた職業を学生自ら選択できる能力を学生が身につけるために、これまで以上に企業に取り組んでももらいたいと考えるものは何か。」という問いに対しては「タイプ3のインターンシップ」が20.5%
- 学生に取り組んでももらいたいと考えるものについては、「会社説明会（業界研究などを含む）」が21.7%、「タイプ3のインターンシップ」が20.9%

これまで以上に  
企業に取り組んでももらいたいこと



これまで以上に  
学生に取り組んでももらいたいこと



## 卒業・修了後3年間の扱いについて

- 「申合せ」では企業に対し、卒業・修了後少なくとも3年間は新規卒業・修了予定者の採用枠に応募できるような募集条件を設定する等、適切な対応を求めていることを踏まえ、「大学等において、卒業後の学生への支援を行っているか」と尋ねたところ、「行っている」と答えた大学等は全体の86.5%

卒業後の学生への支援を行っているか

